

一般質問

9月定例会では22人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は11月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

9月6日(金)

- ・ 渡部 晃久 議員 …… 2P
- ・ 八木 丈之 議員 …… 2P
- ・ 中村かずひと 議員 …… 3P
- ・ 高橋 一 議員 …… 3P
- ・ 本山 廣次 議員 …… 3P
- ・ 柴田 雄二 議員 …… 3P

9月9日(月)

- ・ 小林けいめい 議員 …… 4P
- ・ 水谷千恵子 議員 …… 4P
- ・ 河村 弘保 議員 …… 4P
- ・ 市川 智明 議員 …… 4P
- ・ 岡本 将嗣 議員 …… 5P
- ・ 竹山 聡 議員 …… 5P

9月10日(火)

- ・ 森 利明 議員 …… 5P
- ・ 井上 文男 議員 …… 5P
- ・ 大津乃里予 議員 …… 6P
- ・ 平松 邦江 議員 …… 6P
- ・ 宇山 祥子 議員 …… 6P
- ・ 高木 宏昌 議員 …… ※

9月11日(水)

- ・ 後藤美由紀 議員 …… 6P
- ・ 彦坂 和子 議員 …… 7P
- ・ 木村 健太 議員 …… 7P
- ・ 伊藤 裕通 議員 …… 7P

令和会
渡部 晃久 議員



パスポート発給について

Q 市役所でのパスポートの申請・交付が開始されたが、日曜日や平日の時間外の受取りができない。受け取ることができる他市もあり対応を要望したい。

A 今年度から始まった業務ですので、市民のご意見や他市の状況を勘案して研究してまいりたいと考えます。

i-バスミニについて

Q 運転免許証返納など、地域公共交通の必要性は増加傾向にある。返納者の交通安全の為に、i-バスミニの停留所設置基準を緩和し、市街地でも距離がある地域も

あり、停留所の整備を望むがいかがか。

A 年々利用者が増えている状況は把握していますが、ドライバー不足等により運行地域の拡大は困難であると考えます。

Q では現在の運行地域の停留所を、便利に利用できるような見直すことはどうか。

A こちらは地域の方とも相談しながら検討してまいりたいと考えます。

期日前投票所について

Q 本庁舎の期日前投票所をオリナス一宮や庁舎の低層階等に変更できないか。

A オリナスは貸館、庁舎はセキュリティの問題から現状のままでご理解ください。

令和会
八木 丈之 議員



一宮市メイン野球場建設の可能性について

Q 一宮市のメイン野球場である平島公園野球場は、老朽化に加え、広さや設備等不具合が生じていると聞いているが、具体的にどのようなものが挙げられているか。

A 球場の広さが公認野球規則より狭くなっていること、収容人数が3,200人と少ないこと、専用駐車場が150台と少ないこと、ウォーミングアップ場が無いことなどの要望をいただいております。

Q 現在の場所にある限り、根本的な解決には至らない状況であるが、環境が整う別の場所が確保できたとしても、財源確保の問題で新球場建設は困難か。

A 場所が確保できたとしても、球場及び周辺環境整備で20億円近くかかると推察しますので、困難と言わざるを得ません。

Q 岩手県と盛岡市の自治体同士が共同で野球場建設をする例や、テラスポ鶴舞のような完全民間資金で競技場を整備して市に寄付する例など、国の支援や民間資金を活用する方法など検討してはどうか。

A 自治体同士の連携や民間資金の活用については、今後の検討材料にしてまいります。

新緑風会
中村かずひと
議員



未病対策の推進について

Q 国保の特定健康診査やがん検診の受診率向上のため、ナッジ理論を活用した取り組みについて、市の考えをお尋ねする。

A ナッジ理論は受診率向上に有用であると考えます。同じ日に特定健康診査とがん検診を受けることができる医療機関について、案内チラシや広報号外「健康ひろば」、市ウェブサイトに掲載することは、前向きに検討したいと考えます。

Q 木曾川老人いこいの家に設置されているコグニバイクでの認知症予防事業を、他の施設でも行えないか。

A 今後ですが、検証結果により効果が

みられるようであれば、他の施設での導入を検討したいと考えています。

Q 定期的に未病チェックができるコーナーを駅や商業施設等へ設置できないか。

A 場所の確保や管理方法、協力機関の調整、費用等の課題があり困難と考えます。



投票率の向上について

Q 投票所の立会人を公募できないか。

A 投票立会人の選出が難しい投票区については、個別に対応したい。

新緑風会
高橋一
議員



投票率について

Q 前回の一般質問で、投票率アップのために選挙人名簿抄本を詳しく分析することを求めたが、参院選で取り組まれたか。

A すべての投票所について、データ化に取り組み、現在は調査分析中です。

一宮地方総合卸売市場と地産産野菜について

Q 地産地消について、一宮地方総合卸売市場はどう取り組んでいるのか。

A 情報誌により、市民に旬の地場野菜を使った料理のレシピの紹介や、地産地消や食べ物の大切さを周知しております。

大宮公園について

Q 使うことのなくなってしまった土俵の撤去はあり得るのか。

A 歴史ある希少な土俵であり、撤去まではいまのところ考えてはおりません。

九品地競技場について

Q 約70年前の設置時に使われた粗悪な土砂から、茶碗のかけらやガラス片が出ており、利用者にとって危険な状況だが。

A 安全を第一として整備されなければならないと考えておりますので、まずはガラス片の除去等対応してまいりたいと考えております。

令和会
本山廣次
議員



高齢者の移動手段について

Q 朝日連区南西部にi-バス尾西南コースを延ばせないか。

A この地区には、名鉄バスの路線がございますので、この路線と競合するような路線を設置することは考えておりません。

Q ドライバー不足などの厳しい現状を考えると、ボランティアによる輸送が有効な手段として考えられるのではないか。

A ボランティアによる輸送は、1つの選択肢になり得ると考えております。人員や安全性の確保などの課題もあるため、他市での事例や情報収集等も行いながら、今後研究してまいりたいと考えております。

富田山公園の再整備について

Q 地域住民に親しまれてきた尾西プールについて、どのように考えているか。

A 富田山公園の再整備計画の中で、今後のプールの在り方を含めて関係部署と検討してまいります。

高齢者の福祉施設について

Q つどいの里の休館日である月曜日を月曜祝日に関係なく固定することはできないか。

A 今後の月曜祝日の利用状況を見ながら、慎重に検討していきたいと考えています。

公明党
柴田雄一
議員



100周年記念事業について

Q どのように、まちの魅力を市民参加型で再発見・再確認し、愛情を育む機会とされるのか。また幅広い市民の声を聞くためにファシリテーターが必要ではないか。

A 公募による市民委員をはじめ、各分野で活躍している若い世代で構成する専門委員会を中心に、幅広く市民の声を聞き、まちの魅力を再発見・再確認していきます。状況に応じてファシリテーター研修を受講した職員を活用してまいります。

Q 次の100年後に向け、SDGs未来都市の選定を受けてはどうか。

A 費用対効果などを検討し、研究して

まいります。

おじさんの活躍が地域を明るくするかも

Q 市で所管している事業の中にも中高年齢者（おじさん）の活躍の場が多くある。定年退職後のおじさん向けに「活躍の場」を支援・相談できる窓口やウェブサイトの開設は考えられないか。

A 「活躍の場」の支援・相談窓口の設置は難しいですが、男性高齢者の支援を視野に入れ、各部署での事業を活性化させていきたいと考えています。またウェブサイトでの検索コーナーについては、今後研究してまいりたいと考えています。

立憲民主党 いちのみや
小林 けいめい 議員



子どもの貧困について

Q 一宮市の貧困に該当する子どもの数は。

A 当市では把握しておりません。

Q 貧困世帯として、生活保護世帯が考えられるが、生活保護受給者で17歳以下の子どもは何人か。

A 生活保護受給世帯のうち、17歳以下の子どもは282人です。

Q そのうち、ひとり親世帯の子どもは何人か。

A 生活保護受給世帯で、17歳以下の子どもがいるひとり親世帯の子どもは227人です。

Q 現在、児童扶養手当を受給している世帯は何件か。

A 平成31年3月31日では、児童数4,440人、世帯数は2,895世帯です。

Q 貧困家庭では小中学校の学校給食費の支払いにも困ることがあるが補助制度はあるのか。

A 経済的な理由でお困りの保護者に対し学校でかかる費用の一部を援助する就学補助制度があります。

Q 朝食を摂らずに登校する子供に一宮市では朝食の提供を行う学校はあるのか。

A ございません。

公明党
水谷 千恵子 議員



今一度防災について考える

Q お湯の確保も難しい災害時に赤ちゃんの命をつなぐ大切なミルクとなるため、備蓄品として液体ミルクの導入をした自治体が増えてきている。当市においては液体ミルクを備蓄品として導入することについてどのような考えか。

A 粉ミルクに比べて高価であること、賞味期限が6カ月から1年間と短いことから賞味期限が近づいた液体ミルクを廃棄しなくても済むような工夫など課題がありますので研究を続けていきます。



Q 避難所においてはトイレも重要な課題となる。避難所となる各学校にマンホールトイレを設置できるとよいがいかがか。

A 避難所には、仮設トイレ・簡易トイレを一定量備蓄しており、今のところ多額の費用が掛かるため、マンホールトイレの設置計画はありません。

Q マンホールトイレを設置するより費用も抑えられるので、災害用トイレトレーを保有してはどうか。

A 一宮市では保有していませんが、一宮市建設協同組合がトイレカーを3台保有していますので必要な時には依頼をして調達します。

公明党
河村 弘保 議員



超音波による乳がん検診の必要性について

Q ここ数年、検診対象を30代の女性まで拡大している自治体が増えてきている。マンモグラフィでは乳腺を白く写しだしてしまうため、若い世代や高濃度乳房の方にはがんの腫瘍が判別しにくい。検診メニューに超音波検査の選択肢を追加できないか。

A 乳がんの対策は若い世代から必要であることは認識しておりますが、国が科学的な根拠を基に認めた検査はマンモグラフィのみです。また、対象年齢の拡大や検査方法の追加による財政的負担など、導入するには課題が多く、今後とも国の議論を注視してまいりたいと思います。

電気自動車を活用した災害時の電力供給について

Q 近年、災害時の電気自動車の有効性が報告されている。電気自動車の研究を進め、公用車への導入をはかってはいかがか。

A 電気自動車は災害時の非常用電源として非常に有効と考えております。今後、財政的な負担も考慮し、電気自動車について、どのような活用方法があるのかを調査、研究してまいります。

その他の質問項目

・高齢者の足の確保並びにUDタクシー普及について

公明党
市川 智明 議員



ゲーム障害・スマートフォン・ネット依存対策について

Q 近年ではスマホ育児なども賛否両論話題となっているが、幼児期からのスマホ利用や保護者に対する教育について、一宮市の考えはどうか。

A 健診等で保健センターを訪れる保護者に向けた「スマホ育児の弊害」についての啓発等は可能であると考えます。

交通事故防止について

Q 高齢者に対する、安全運転支援装置の購入や設置への補助制度について、どのように考えるか。

A 踏み間違い防止装置への補助につきましては、現時点では考えておりませんが、自動車メーカーの動向や他市の状況もみながら、研究してまいります。

手続きの簡素化・業務効率化について

Q 申請の際に、極力記入しなくても済むような「書かない窓口」について、デジタル市役所を進めるといった点で、市としてどのように考えているか。

A 「書かない窓口」については今後も進めていきたいと考えております。システム導入の際には、より良い選択ができるよう引き続き研究してまいります。

岡本 将嗣
令和会
議員



競輪場跡地利用の進捗状況について

Q 競輪場の今後予定を発表されながら、余り進展していない状況に、新規参入予定の企業が本当に出展できるのか、頓挫してしまったとの噂がありますが実情を確認したい。

A 解体工事の着手が遅れていることは、市も認識しております。同社からは解体・建築・土壌汚染対策等、複数の企業と連携する予定で、各企業間の調整に時間がかかり着工が遅れているが、計画通り進めるとの説明を受けています。

名岐道路の進捗について

Q 渋滞の緩和だけでなく、物流アクセス性が向上することによる当該地域の発展など、様々な効果が期待される名岐道路、現在どのような状況が教えてください。

A 現在、計画段階評価に着手しております。今後、住民や道路利用者等の方々に対して意見聴取が実施される予定で、計画段階評価後には環境影響評価の手続きなどを経て、新規事業採択時評価の後、新規事業採択されることとなります。

その他の質問事項

・一宮市温水プールの今後について

竹山 聡
令和会
議員



医療的ケアを必要とする子ども達への対応

Q 医療的ケアが必要な子ども達は、全国で約1万8,000人を超えている。この10年間の統計で1.8倍以上に増えたこともあり、国において2016年に児童福祉法が改正され医療的ケア児の存在が初めて法律に明記され、医療・福祉に加えて、教育においても市町村が努力義務を負うことになった。

看護師の配置や受け入れのための施設確保、環境整備が課題ではあるが、一宮市内の保育園で医療的ケアを必要とする子ども達を受け入れてほしいがいかか。

A 保育園で安全な医療と保育を提供するには職員体制の整備が必要となります。

研修を受けた保育士が行うことのできる医療的ケアは特定のものに限られますので、看護師が園に常駐していることが望ましく、園児の緊急時に初期対応ができる体制づくりが必要となります。

受け入れにあたっては、医療・保険・福祉等の関連機関や、小学校の就学に向けた学校との連携も必要となります。一宮市障害者自立支援協議会の「医療的ケアネットワーク会議」に保育課も参加していますので、課題の共有や解決に向けた検討を前向きに行っていきます。

森 利明
愛西会
議員



消防業務について

Q 消防業務の概要について尋ねる。

A 火事や救急などの災害出動業務、119番通報を受ける通信指令業務、火災予防業務、施設の管理業務、消防団・消防音楽隊の運営に係る業務等多岐にわたっています。

Q 高速道路の救急出動は何件あるか。

A 年間67件65人の搬送がありました。

Q 高速道路会社から救急隊に対して、費用負担はあるか。

A 令和元年度予算で約650万円が歳入として計上されました。

Q 9月9日は「救急の日」であるが、消防として市民にPRなど行っているか。

A 今年はイオンモール木曾川で「一宮市救急フェア2019」を開催しました。

Q 火災を消火するための消防水利について、どれ位設置されているか。

A 消火栓4,032箇所、防火井戸603箇所、防火水槽375箇所です。

Q 街頭消火器は市内に何本あるか。

A 市内には9,861本あり、毎年1回はすべての消火器を点検しております。

Q 住宅火災警報器の一宮市内の現状を尋ねる。

A 令和元年設置率は72.9%です。周知は町内会へのチラシ回覧等いろいろ実施しています。

井上 文男
令和会
議員



旧循環器呼吸器病センターの跡地利用の現状について

Q 平成28年5月に愛知県より民間法人に売買され、建物が解体された以降何も手をつけられず更地状態になっているのはどうしてか。

A 民間法人が取得しましたが、その後さらに所有権移転がされ現在は別法人が所有しています。また現在のところ誰からも許可基準に適合する申請はされておらず更地のままとっております。

Q 今後建物を建設する場合山中遺跡の調査はされるのか。

A 一定以上の深さを掘る場合は、文化

財保護法に基づき試掘調査を行い、必要に応じ発掘調査も民間法人の費用負担で行うこととなります。

地区計画について

Q 市街化調整区域内地区計画運用指針を策定してから2年が経過しているが、今後はどのように取り組んでいくのか。

A 地区計画の活用を考える地域の方々に、条件などの説明のみならず、どのようにしたら条件をクリアすることが出来るのか、どのような計画であればよいのか、一歩踏み込んで地域の方々と共に勉強会をしていきたいと考えています。

真風会
大津乃里予 議員



障がい者にとっての災害時について

Q 人工呼吸器を使用している方も対応可能な福祉避難所には、自家発電設備は設置されているのか。

A 全てには設置されておりません。

Q 福祉避難所は一宮市全体を網羅できるように整備されているのか。

A 福祉避難所は主に民間施設です。従って計画的には整備されていません。

Q 自家発電設備の設置の補助制度はあるのか。また、一宮市の今後の考え方は。

A 国の補助制度があるので市独自で実施予定はありません。また、設置は事業者の判断であり、義務付けはできません。

児童相談所の設置について

Q 一宮市の児童虐待対応の現状について、どのように考えているのか。

A 県と市の二元体制で役割分担のもと連携を密に図っており、児童虐待対応については機能していると考えています。

Q 市が直接権限を持つことで児童虐待へ迅速に対応できる体制になると言われているが、中核市移行に向けて、児童相談所の設置についてどのように考えているか。

A 中核市への義務付けの話が出ておりますが、一律設置を進めていくものではないと考えています。今後も当分の間この体制を継続していきたいと考えております。

公明党
平松 邦江 議員



出産の支援について

Q 市の出産前の支援はどのようなものがあるか。

A 妊娠から子育て期にわたる切れ目無い支援体制を構築するため、母子健康包括支援センター事業を実施しています。妊娠届出時の面談、ハイリスク妊婦のフォロー、32週家庭訪問の3点に力を入れています。

Q 若い母親が繋がりがやすいように、子育て支援アプリをさらにバージョンアップしてほしい。

A 運用開始して間もないので、今のところ予定はありませんが、改定の折には参考にいたします。

関係人口について

Q 移住・定住のサイトに年間で5,400件以上の閲覧件数があり、お祭りなどイベントに年間500万人の人が一宮市に來場している。これらをシビックプライドと関係人口の概念で、新しい活力にしていけることは考えられないか。

A 関係人口については、市の次期総合戦略において検討していく予定です。一宮市の地域資源や魅力を磨き上げ、積極的に情報発信し、2021年市制施行100周年を迎える節目の年に向け、地元への誇りや愛着を育む事業を改めて検討してまいります。

立憲民主党一宮市議会
宇山 祥子 議員



街頭消火器

Q 維持管理はどのようにしているか。

A 消防職員またはOBの嘱託職員が、毎年1回全ての街頭消火器を点検しています。



向山児童クラブの現状

Q 室内の子供達の声が反響し、聴覚への影響が心配である。吸音パネルの活用などで、反響を和らげることはできないか。

A 適宜、対処してまいりたいと思います。

市制施行100周年記念イベント ミスターセタの復活

Q 「ミスターセタ」の復活、「ミスセタ、ミス織物」を「ミズセタ」として公募してはどうか。

A 「セタまつり企画委員会」に伝え、広く検討していただくようお願いします。

女性の視点からの災害対策

Q 一宮市の災害用トイレの備蓄状況はどうなっているのか。

A 市内の防災備蓄倉庫・簡易防災備蓄倉庫に囲いのある洋式仮設トイレ186基、簡易トイレ2,111基、和式の仮設トイレ72基を備蓄しています。

維新一宮市議会
後藤美由紀 議員



学校教育のあり方

Q 9月からの不登校・自殺対策として、また子ども達が自分の可能性に挑戦できるきっかけとして、ドリームマップ授業のような自己肯定感を高める取り組みを、夏休みの出校日などに行ってはどうか。

A 全小学校で実施しているあま市の取り組みを聞きながら研究をしていきたいと思えます。

Q ペッパーの契約が今年で切れるがその後どうなるか？

A プログラミング教育の必修化に向け、これまでの取り組みが今後も活かせるよう、ソフトバンクと協議中です。

保育士の人数配置と加配制度

A 副担任を配置することで、軽度な障害を持つ園児がいた場合でも補助が可能となり、新任保育士の育成や潜在的保育士が復帰できる環境作りにも効果的である。副担任制度を取り入れてはどうか。

Q 現在200人以上の園に、担任や担当を持たないフリーの常勤保育士を配置し、8月からは定員規模にかかわらずフリーの非常勤保育士の配置を進めています。今後も補助的役割の職員の配置を進め、現場の負担軽減につなげたいと考えています。

彦坂 和子
日本共産党一宮市議員



高齢期も元気で暮らせる一宮に

Q 買い物や通院など外出に困っている高齢者の移動手段を確保するため、i-バスやi-バスミニの拡充の考えはどうか。

A バスやタクシー事業者のドライバー不足は早々に改善する見通しはなく、事業規模の拡大は困難な状況です。

子どもたちの健やかな成長を願って

Q 公立保育園53園は、私立保育園の模範的な存在で重要な役割を果たしているの、民営化するのでなく存続してほしいと考えるが、当局の考えはいかがか。

A 老朽化した園舎の建替えなどに対す

る市の負担を考えますと、そのままの維持は困難で、国や県の補助が見込まれる民営化に取り組むことも必要と考えています。

安心・安全で豊かな学校給食を

Q 今後の調理場整備で、尾西・木曾川地域の自校方式について、市民・保護者の声を聞く機会を設けてほしいが、いかがか。

A 提供方式の定量的な比較等は、基本構想で終えていますので、今後は学校給食審議会に諮るなどして決定していきます。

その他の質問項目

・国民健康保険事業について

木村 健太
真風会



グローバル社会で活躍する人材育成

Q 来年度から新学習指導要領の完全実施となるが、今年度の小学校の英語授業はどのように行われるか。

A 昨年度と本年度は、移行期間として文部科学省から配布された教材を使って3・4年生では年間35時間で週1時間、5・6年生では年間50時間で約週1.5時間を実施しています。

Q 中学校でも令和3年度からは、新学習指導要領となり英語教育が変わっていくが、指導はどうか。

A 取り扱う語数が「1,200語程度」から「1,600語程度」に増え、それらの語を

活用して、オールイングリッシュで対話的な言語活動が一層重視されます。

Q 小・中学校におけるオンライン英会話が目立ち始め、導入し始めている学校もあるが、一宮市におけるタブレット端末導入の進捗状況はどうか。

A 現在、将来的な導入に向けて、小学校2校、中学校1校で試験的にタブレット端末を導入しており、その活用方法について検討を重ねているところです。

その他の質問項目

・次世代の政治参加

伊藤 裕通
自由民主党一宮市議員



一宮市の行政財産・普通財産及び借地・貸地の土地について

Q 行政財産と普通財産の違いは何か。

A 市が所有する行政財産は、行政上の用途目的に供する公用財産、市民が利用する公共用財産があり、それ以外の公有財産が普通財産（市が公用に活用していない財産）です。

Q 普通財産の土地の筆数、全体面積、固定資産税評価額の合計は。

A 平成31年3月末現在、筆数471筆（内20筆8,200㎡は田畑）面積20万1,000㎡、評価額合計99億8,700万円余です。

Q 雑種財産の公用・公共用として必要

が無い土地を売却しないのか。

A 売却・処分の手続きを進めることができているのが実態です。

Q 行政財産で貸地と借地の合計件数、合計面積、合計金額は。

A 貸地は126件14万1,000㎡、5,100万円余。借地は161件24万2,000㎡、3億円余となります。

Q 借地は積極的に購入するべきでは。

A 条件にあう土地は購入を検討します。

Q 活用していない土地は処分し、借地は購入することを積極的に進めるよう強く要望する。

A できる限り進めます。

次回12月定例会の日程(予定)

日程は変更になることがあります。 ID 1005106

本会議	
12月 3日(火)	開会・議案上程
12月 9日(月)	一般質問
12月10日(火)	一般質問
12月11日(水)	一般質問
12月24日(火)	討論・採決・閉会

- 開議時刻 ……午前9時30分
- 傍聴場所 ……本庁舎14階 議場傍聴席

常任委員会	
12月13日(金)	総務委員会
12月16日(月)	福祉健康委員会
12月17日(火)	経済教育委員会
12月18日(水)	建設水道委員会

- 開議時刻 ……午前9時30分
- 傍聴受付場所 ……本庁舎12階 議会事務局
- 傍聴受付開始時刻 ……午前9時(定員10名)